

サウンド・オブ・かとり

—音楽でつながる人・仲間—



佐原ウインドアンサンブル × 小見川吹奏楽団

日本は吹奏楽が盛ん。とりわけ千葉県は盛んで中学・高校生、社会人バンドがコンクールや演奏会で活躍しています。今号では、市内を中心に活動する2つの社会人バンドを紹介するとともに、吹奏楽の魅力に迫ります。

「吹いて楽しい 聴いて楽しい」 目指せエンターテイナー



ひろし
代表 櫻井大士さん(篠原イ)

中学時代はチューバを吹き、高校からトロンボーンを始める。楽器と祭りともモモクロが好きで40歳。

佐原 ウインドアンサンブルは昭和62年に発足した市民バンドで、現在約60人で活動しています。地域の文化活動に貢献することを活動の目標とし、毎年6月に開催する定期演奏会をはじめとして、神崎町のふるさとフェスタ、クリスマスコンサートなど、さまざまなイベントの参加に努めています。団員は

高校生から60代まで幅広く、また、さまざまな職業の人が市内外から集まっています。昨年12月のクリスマスコンサートが無事終わり、年が明けてからは定期演奏会に向けて選曲・練習など、本格的に始動しました。レパートリーは吹奏楽のために作曲された曲やマーチをはじめとして、

ここ数年、市内での演奏が少なく皆さんにお会いする機会が減りに思います。イベントなどの演奏依頼をお待ちしていますので、気軽に声を掛けください。

クラシックやポップス、演歌など多彩です。社会人バンドの性格上、仕事や家庭、地域行事の合間を縫って活動していますので、練習不足は否めません。限られた時間の中で「吹いて楽しい、聴いて楽しいバンド」を目標に、毎週水曜日(演奏会が近くなると土曜日も追加)、神崎ふれあいプラザで練習しています。

「バンドサウンド」の言葉のもと 音楽の素晴らしさを感じてほしい

1977 年(昭和52年)の冬に小見川高校吹奏楽部のOBを中心に、団員5人で結成した社会人バンドで、今年で38年目を迎える「おみすい」こと「小見川吹奏楽団」です。現在、約70人で活動しており、高校生から還暦間近の人まで幅広い年代・いろいろな職業のメ

ンバーが集まっています。また、結成当時のメンバーも現役で活躍しています。さて、私たちは「毎回の練習が演奏会」をモットーに、皆さんに楽しんでいただける演奏を目指して日々活動しています。一年を通してコンサート、イベントでの演奏、近隣の中学校でのクリニック

イベントなどの演奏依頼をお待ちしておりますので、気軽に声をお掛けください。



たけや
団長 伊藤剛哉さん(虫幡)

小学校からトランペットを始める。ジャズからモモクロまで、音楽ジャンルは問わない44歳。

など活動は多岐にわたります。また、昨年までに35回の定期演奏会を開催することができました。年明けからは、いろいろなイベントで使用する曲の選曲や、新しいレパートリーを増やすため、音楽監督を中心に始動しました。「おみすい」らしい音を目指して「バンドサウンド」の言葉のもと、音楽の素晴らしさを感じながら、毎週土曜日(演奏会が近くなると臨時練習あり)18時から21時30分まで、山田公民館視聴覚室で練習しています。

多彩な選曲 1 クラシックからポップスまで

吹奏楽では吹奏楽用の曲のほかに、さまざまなジャンルの音楽を吹奏楽用にアレンジ（編曲）したものを演奏します。

オーケストラアレンジ

オーケストラ（管弦楽）の曲を吹奏楽用にアレンジしたもの。ホルストの「惑星」やヴェルディの歌劇「運命の力」序曲など著名な楽曲は、たいていアレンジされています。バイオリンやビオラなど、吹奏楽にない楽器は、クラリネットやサクソなど割り当てられます。

ポップスアレンジ

J-POPや映画音楽、演歌などを吹奏楽用にアレンジしたもの。アレンジによって曲の雰囲気が変わり、原曲との違いを楽しめます。ドラムやベースでリズムを刻むので、ノリのいい曲が多いのが特徴。

吹奏楽オリジナル

作曲家が吹奏楽のために作った曲です。上記2つはアレンジなのに対し、オリジナルは吹奏楽のために書かれた曲なので、各楽器本来の音色や特性が活かされ、また、吹奏楽としての曲の完成度も高いといえます。奏者としては一番演奏したいジャンルかもしれませんが、知名度が低いので一般の人にはなじみがないのが難点ですが、テレビ番組で使用されることもあります。

スポットを浴びて奏でる 2 華麗なソロ

ソロは花形。スポットを浴びて吹く姿に聴衆の視線も集まります。ソロは数小節の短いものから1曲まるごとというものまでさまざまですが、奏者には1人で吹ききる技術と表現力が求められるため、プレッシャーもかかります。また、奏者にはソロが好きで、暗譜が苦手な人、緊張しやすい人などさまざまです。



吹奏楽 5つの魅力

pick up

ステージを盛り上げる 3 多彩な演出

演奏会では、照明、ダンス、衣裳などの演出がステージを彩ります。演奏だけでなく、見た目にも楽しいステージになるようさまざまな工夫がなされ、観客も一緒に手拍子をしたり、歌を歌ったりすることもあります。知り合いの演奏会を見に行くとき、その人の意外な一面を発見できるかもしれません。



少人数で織りなす響き 4 アンサンブル

アンサンブルとはこの場合、少人数での演奏を意味します。クラリネット5重奏や、サクソフォン4重奏など、同属楽器のアンサンブルや、金管5重奏、木管5重奏などといった、さまざまな組み合わせで演奏されます。個々の技量がより大切となりますが、少人数ならではの曲のつくりや、同属楽器のハーモニーを楽しめるのが魅力。



※同属楽器とは、仕組みは同じで大きさが違う楽器のこと。クラリネット属にはB♭クラリネット、アルトクラリネット、バスクラリネットなどがあります

吹奏楽の総合芸術 5 マーチング

主に隊列を組んで行進しながら演奏するのがマーチングです。パレードや、幕張メッセなどの大きな会場で美しいフォーメーションを形成しながら演奏するステージドリルなどは圧巻です。



団員募集

今回紹介した小見川吹奏楽団、佐原ウインドアンサンブルでは団員を募集しています。

小見川吹奏楽団

♪対象 原則、高校生以上で継続的に練習に参加できる人

♪練習日時 毎週土曜日 18時～21時30分

♪場所 山田公民館視聴覚室

♪特に募集しているパート

ホルン、ファゴット

☎omisuikanri@gmail.com

佐原ウインドアンサンブル

♪練習日時 毎週水曜日 19時～21時30分

♪場所 神崎ふれあいプラザ多目的ホール

♪特に募集しているパート

ファゴット、コントラバス、パーカッション、ユーフォニウム

☎http://sawarawind.net/

☎代表 櫻井 ☎090(4457)7629

☎info@sawarawind.net

団員クローズアップ

各団の団員に登場いただき、楽器の魅力などをアピールしていただきました。

佐原ウインドアンサンブル

低音大好き チューバパート



▲左から中村唯齋さん(佐原イ)、中野恵子さん(北)、中澤隆司さん(成田市)

金管で一番低い音を出しバンド全体を支えるチューバ。客席から見ても楽器が大きいのでなかなか奏者の顔を見ることができません。

低音は華やかさはありませんが、やってみるとハマる、そんな魅力があります。

小見川吹奏楽団

なかよし家族 クラリネットパート



▲小見川吹奏楽団では一番人数が多いクラリネットパートの皆さん

クラリネットの管体は一般的にグラナディアというアフリカ産の木材から作られます。小見川吹奏楽団のクラリネットパートは昨年竟成小、新島小、神栖図書館でアンサンブルを披露するなど精力的に活動しています。